

第2回部会におけるご意見への対応について

資料1

		ご意見	対応	反映箇所
基本理念		「歴史」を「歴史文化遺産」に統一した方がよい。	歴史文化遺産だけでなく、森林資源を継承してきた先人の営み等も含めて「歴史」であると考えているため、現行どおりとする。	骨子 P1
		説明文の「環境のみならず「環境・経済・社会の統合的向上」」の「環境のみならず」は不要。	「環境のみならず」を削除。	骨子 P1
		環境問題（気候変動等）への危機感を持たせた方がよい。	計画本文（第2編 社会情勢の変化と環境との関わり）に、危機感を持たせる文言を新たに記載。	本文 P8
環境像		「多様な主体が連携・協働」とあるが、ゼブラ企業等の具体的な主体をイメージできるようにした方がよい。	ゼブラ企業のように社会課題の解決と経済成長を両立することは重要だと考えるが、環境像で具体的な主体を明示することは、想定する主体の範囲を限定するおそれがあるため、具体的な記載は難しいと考える。この考え方については、基本理念で掲げる「環境・経済・社会の統合的向上」を目指す方向性に反映している。	—
横断的視点	1－2	気候変動対策について「適応」の表記はあるが、「緩和」の表記がないことが気になる。	計画本文（第2編 社会情勢の変化と環境との関わり）に、「緩和」「適応」両輪の取組の必要性を新たに記載。	本文 P9
	2－2	地域の生物多様性を維持・回復・創出（増進）することが大切。資源を『活かす』ための基盤として組み込んでいただきたい。	資源を活かす前段として、「生物多様性の増進」について新たに記載。	骨子 P2
	3－1 3－3	ネイチャーポジティブの要素を組み込めるとよい。	「ネイチャーポジティブ」について新たに記載。	骨子 P2
	3－1	「日常生活」・「事業活動」以外に「生態系の攪乱」も環境問題の要因となるので記載した方がよい。	「生態系の攪乱」は、「日常生活」・「事業活動」により起きるものであると考えているため、現行どおりとする。	—
	3－3	F S Cマーク等の環境に配慮した商品の活用を企業に促すことを記載した方がよい。	計画本文（第2編 社会情勢の変化と環境との関わり）に、環境ラベル活用について新たに記載。	本文 P12
その他		S D G sを本文に入れることについて検討していただきたい。	計画本文（第3編 基本理念と施策展開）にS D G s マークを新たに記載。（現計画は参考資料として添付。）	本文 P16, 17
		「デコ活」（脱炭素の実現に向けた国民のライフスタイル転換を後押しするための運動）の要素を計画に反映できるとよい。	分野別施策「I 脱炭素社会の構築」の「1（4）普及啓発」の中で「行動変容促進」について記載。	本文 P33
		安心、安全等の言葉の使い方について精査した方がよい。	横断的視点1、分野別施策Vの文言を修正。	骨子 P1